

令和元年度 学校評価総括表

奈良県立平城高等学校

<p>学校教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 真理を追究する真摯で、積極的な学習態度を養い、高い知性と豊かな創造力を育てる。 ○ 人権尊重の精神を基調として、規律と責任を重んじ、自他を敬愛する心と社会的な連帯感を育てる。 ○ 健康で強靱な体力と不屈の精神力を培い、進取の気概に富んだたくましい実践力を養う。 		<p>校訓・文武一貫教育</p> <p>◇創造 新しくものを創り出すこと</p> <p>◇敬愛 尊敬し、親しみの心をもつこと</p> <p>◇堅忍 つらいことによく耐え忍ぶこと</p> <p>〈文武一貫教育〉を目指し、推進することを通じて、校訓の具現化を図る。</p>		<p>総合評価</p> <p style="font-size: 2em; text-align: center;">A</p>		
<p>学校経営方針</p> <p>生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばし、未来に向けた自己実現を援助する教育に努める。</p>						
<p>目指す学校像</p> <p>新たな歴史を創造し、自校の教育と生徒を誇れる学校</p>						
<p>目指す生徒像</p> <p>夢の実現に向けて、努力を惜しまない心の強い生徒</p>						
<p>目指す教師像</p> <p>生徒を深く理解し心に寄り添いながら、生徒を高め育てる教師</p>						
<p>前年度の成果と課題</p> <p>[成果] ・基本的生活習慣及び規律ある学校生活の定着 ・自己の目標達成のための進路選択能力を伸長</p> <p>[課題] ・家庭学習の充実等主体的な学習活動 ・より高い次元での進路開発意識の向上 ・教育活動を通じた社会性・国際性の錬磨</p>		<p>本年度の重点目標</p> <p>主体的な学習習慣の確立</p> <p>より高い次元での進路実現</p> <p>社会性・国際性の錬磨</p>		<p>具体的目標</p> <p>生徒が主体的に取り組む授業の改善や家庭での学習時間の確保</p> <p>進路情報の提供や個別サポートによる生徒の可能性を最大限に引き出す進路保障</p> <p>地域協働による「地域と共にある学校づくり」の継続と深化</p>		
教育活動	評価項目	具体的方策・評価指標等	評価 総括	成果と課題(評価の分析)	課題の改善策等	学校関係者評価他
学習指導	主体的な学習習慣の確立	・家庭学習点検週間を年3回実施し、各種個人データや集団データ、学習時間60分以上を確保している割合等を提示し、学習習慣を確立させるとともに、日々の学習時間60分以上の生徒を増やす。 成果指標90%	A-	年3回実施。週平均1年77%、2年82%で、2年は学期ごとに増加傾向。30分以上は概ね90%。さらなる時間増が必要。	個人データと集団データの違いを示すことで、更なる学習習慣の見直しを促す。	<p>・来年度から在校生が減少することを考慮し、「時差登校」については制度設計を検討する必要があると思う。</p> <p>・評価がほとんど「A」であることに違和感を覚える。もう少し高い目標を設定し、チャレンジしてはどうか。</p> <p>・様々な活動を通して地域と協働していることは評価できる。「見守り活動」をはじめ多くの生徒が参加してくれていることで地域が元気づけられている。</p> <p>・「閉校」に向けて、想像力を豊かにし、課題を先取りして検討していく必要がある。課題解決には地域として可能な限り協力していきたい。</p> <p>・教育コース卒業生は大学においてもリーダーシップを発揮してくれている。教育コースでの取り組みの成果だと評価している。</p> <p>・生徒に寄り添う教育活動を実践し、学校としての課題解決に向け努力している様子が理解できた。保護者アンケートの数字にも表れているように、保護者からも一定評価されていると感じる。</p>
生徒指導	規範意識の向上と挨拶の徹底	・規律と責任ある言動を自覚させ、規範意識の向上と挨拶の徹底を図るため、毎朝の登校指導と、月一回のあいさつ運動を継続・実施する。さらに、昨年度よりも問題行動、遅刻の減少をめざす。 成果指標80%	A	一斉登校指導を毎月実施できた。概ね平城高校生として適切な行動がとれている。地域の挨拶運動にも参加できた。	時差登校を学年別から地域別への変更を検討中である。	
進路指導	能力・適性に応じた進路実現	・進路講演会や進路HR等の更なる充実を図り、生徒や保護者の進路意識を高めるとともに、生徒個々に応じた進路指導を進め、第一志望大学の合格率の向上を図る。 成果指標80%	A	生徒対象5回、保護者対象3回の講演会により進路意識向上に努めた。保護者対象の参加者が減少傾向にある。	第一志望を簡単に諦めさせない指導方法や保護者との情報共有方法を一層検討。	
特別活動	部活動・生徒会活動の活性化	・心身の健やかな発達のために部活動参加生徒90%を目指す。40周年を記念する学校行事において全校生徒で取り組める活動を行う。全校集会やプラスαの活用で、生徒会からの情報発信に努める。 成果指標80%	A	40周年記念折り鶴アートを全校生徒の手によって制作した。部活動参加率は4月当初の90%を少し切っている。	部活動を辞める生徒をなくす部活動の工夫を検討したい。	
人権教育	参加型LHRの充実	・人権に関する普遍的課題や新しい課題を整理しながら教育内容を検討し、生徒の参加型活動を取り入れたHRを年間3回以上実施し、人権意識の向上を図る。また、職員研修を計画的に実施する。 成果指標70%	A	生徒の参加型HRを3回以上実施し、人権意識の向上を図ることができた。また、職員全体研修を1回行った。	LGBT等の今日的課題をHRに取り入れるため、指導計画を適宜考え直す。	
教育相談	SCを活用した教育相談	・SCのカウンセリング(年間35回予定)と連携しながら、教育相談の一層の充実を図る。学校の中でいつでも相談できる環境をつくるとともに、いじめの未然防止に努める。 成果指標80%	A	SCとコーディネーターの連携を十分に図ることができた。生徒支援対策委員会やケース会議も適宜行った。	生徒支援対策委員会を活性化し、生徒への支援方法の改善に努める。	
環境美化	校内外の環境美化活動の推進	・清掃活動に積極的に参画する生徒を育成するとともに、年間1回以上の保護者、地域と協働した美化活動を実施する。 成果指標80%	A	日々の清掃活動のほか、美化委員、生徒会を核とし、地域と協働した「花いっぱい運動」、「特別清掃班」等の活動を実施した。	関係者と連携し、活動を継続する。さらに生徒自らが校内美化に参画する体制を構築する。	
情報発信	学校理解の促進と説明責任	・学校Webページ等の効果的な活用を進め、地域や保護者等への教育活動の継続的な周知に努めるとともに、保護者アンケートの実施等によって理解度を検証し、学校改善に生かす。 成果指標80%	A	学校Webページの充実を図った。また、保護者アンケートにおいて、昨年のデータとの比較分析の視点を加えた。	人員が不足する中で、水準を落とさないように、業務内容を見直していきたい。	
地域協働	地域貢献と体験の場の創出	・「地域と共にある学校づくり」を目指し、地域協働の多様な取組を実施し、より多くの生徒が地域とのつながりの大切さに気づき、自己有用感を高める契機を創出する。 成果指標80%	A	集会での呼びかけにより、部活動に入っていない生徒も含め、多くの生徒が地域協働の取組に参加した。	地域や他校との連携を考える。継続できる取組は人数を縮小しても行う。	
健康体育	心身共に健康な学校生活を送る生徒を育てる	・学校管理下での負傷による保健室来室者数を減少させるために、疾病やけがの予防法などの情報発信に努める。また、体力向上を目指し、全学年においてスポーツテスト総得点を向上させる。 成果指標80%	A	負傷による保健室来室者の数は減少した。また、スポーツテスト総得点も昨年度より向上した。	継続して情報発信を行い、また、体力トレーニングの実施に取り組む。	
読書教育	読書活動・図書館活動の充実	・朝の読書タイム、ビブリオバトル、「よむぞう」、図書館だより等の作成などの活動を通じて読書への関心を高めるとともに、生徒の興味やニーズに応じた蔵書の充実を図り、その紹介に努める。 成果指標80%	A	活動を計画通り行うと共に蔵書の充実を図り、図書館だよりを毎月発行して読書啓発に努めた。	図書委員の主体的活動を通して読書啓発活動の活性化を目指したい。	